

Ⅳ. 新庁舎の空間構成

新庁舎は、町民センターとの連携を考慮した中で、両施設のバランスを配慮した配置を要望します。新庁舎と町民センターの連携により、町民サービスのより一層の向上を図ることができ、さらに災害時には一体性のある効果的な行動のとれる災害対策拠点としての機能の充実を目指し、配置により想定される敷地内の各種動線については安全性を確保するようしっかりと検討することを要望します。

1. 新庁舎の内部構成

1) 町民サービス機能ゾーニングについて

町民サービス機能については、利用のしやすさを優先し、基本的に低層階に設ける計画とします。また、各施設の配置の考え方は以下のように考えます。

①交流広場（プラザ）：（約 180 ㎡）

エントランスを兼ねた町民の交流の場となるため、1 階への設置が望ましく、窓口手続きの待合機能としての利用を考慮した場合、1 階窓口との近接が望ましい。

②案内機能：（約 25 ㎡）

来庁舎への案内業務は、出入口付近に設置する必要があるため、1 階への設置が望ましい。

③相談機能：（約 30 ㎡）

町民が気軽に相談ができるように 1 階への設置が望ましい。

④託児機能：（約 15 ㎡）

窓口による手続きの際に利用することが想定されるため、利用頻度の高い窓口に近接することが望ましい。

⑤情報提供機能：（約 70 ㎡）

町民への情報提供の場として、利用しやすい配置が望まれるため、1 階への設置が望ましい。

⑥協働スペース機能：（約 50 ㎡）

積極的な町民利用を促すため、利用のしやすい 1 階への設置が望ましい。

■町民サービス機能の階層構成イメージ

階層	配置の考え方	想定される機能
1 階	交流の場や庁舎内の案内機能を配置	交流広場、案内機能
	町民の分かりやすさ、利用のしやすさを優先した配置	相談機能、託児機能、情報提供機能、協働スペース機能

2) 行政機能ゾーニングについて

新庁舎の整備において、各部署の庁内配置については、来庁舎の利便性と職員の業務効率の向上等の観点から以下のように考えます。

①町民の利用頻度が高い部署の考え方

「相談・窓口・情報提供」の機能を有する町民の利用頻度が高い部署は、町民の利便性と来庁のしやすさに配慮して、1階への計画が望ましい。

②町民の利用頻度が比較的低い部署の考え方

業者の利用が多い部署や政策・行政管理等の比較的町民利用の少ない部署は、中間階への計画が望ましい。

③教育委員会の考え方

教育委員会のうち、就園・就学等の手続きにより、町民利用の多い教育委員会事務局教育総務課については、1階への計画が望ましい。

④福利厚生機能等の考え方

福利厚生機能のうち、食堂については、非常時の屋外避難広場への炊き出し等の機能を考慮した場合、駐車場（災害時屋外広場）との近接が望ましい。

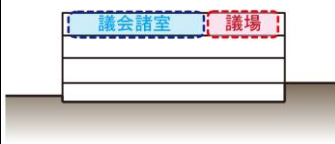
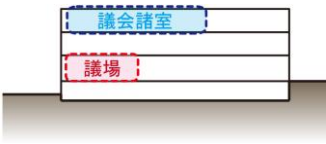
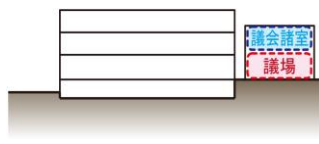
■行政機能の階層構成イメージ

階層	配置の考え方	想定される部署・機能
1階	町民の利用頻度が高い、「相談・窓口・情報提供」の機能を中心に配置	町民サービス部、保健福祉部、会計管理、教育委員会事務局教育総務課、食堂 等
中間階	業者の利用の多い部署や政策・行政管理等の比較的町民利用の少ない部署を配置	まちづくり部、教育委員会、行政推進部、会議室、福利厚生施設 等

3) 議会配置について

議会機能については、庁舎の最上階に配置する考え方のほかに、行政と議会の独立性という観点から別棟とする考え方や、町民の傍聴のしやすさや議会休会時の議場の一般利用を考慮して、議場を1階に配置する計画も考えられます。

以下より、それぞれの考え方について比較・検討します。

	議場を最上階に配置した場合	議場を1階に配置した場合	議会を別棟とした場合
			
メリット	・議場と議会諸室の動線をコンパクトにできる。 ・動線、セキュリティが明確にできる。 ・大きな空間が計画しやすい。	・町民の傍聴のしやすさや休会時の利用に有効。	・議場と議会諸室の動線をコンパクトにできる。 ・動線、セキュリティが明確にできる。 ・町民の傍聴のしやすさや休会時の利用に有効。
デメリット	・傍聴時の町民垂直動線を確保する必要がある。	・議場と議会諸室の動線が長くなる。 ・大きな空間を計画するのが難しい。	・敷地内に別棟用のスペースを確保する必要がある。 ・別棟として計画するため、出入口、階段、トイレ等の共用スペースが必要となる。
評価	○	△	△
	上記から、「議場を最上階に配置した案」は、議場としての大きな空間の確保やセキュリティの明確化、議会動線の確保のしやすさから、総合的に判断して、最も有用な配置案と考えます。		

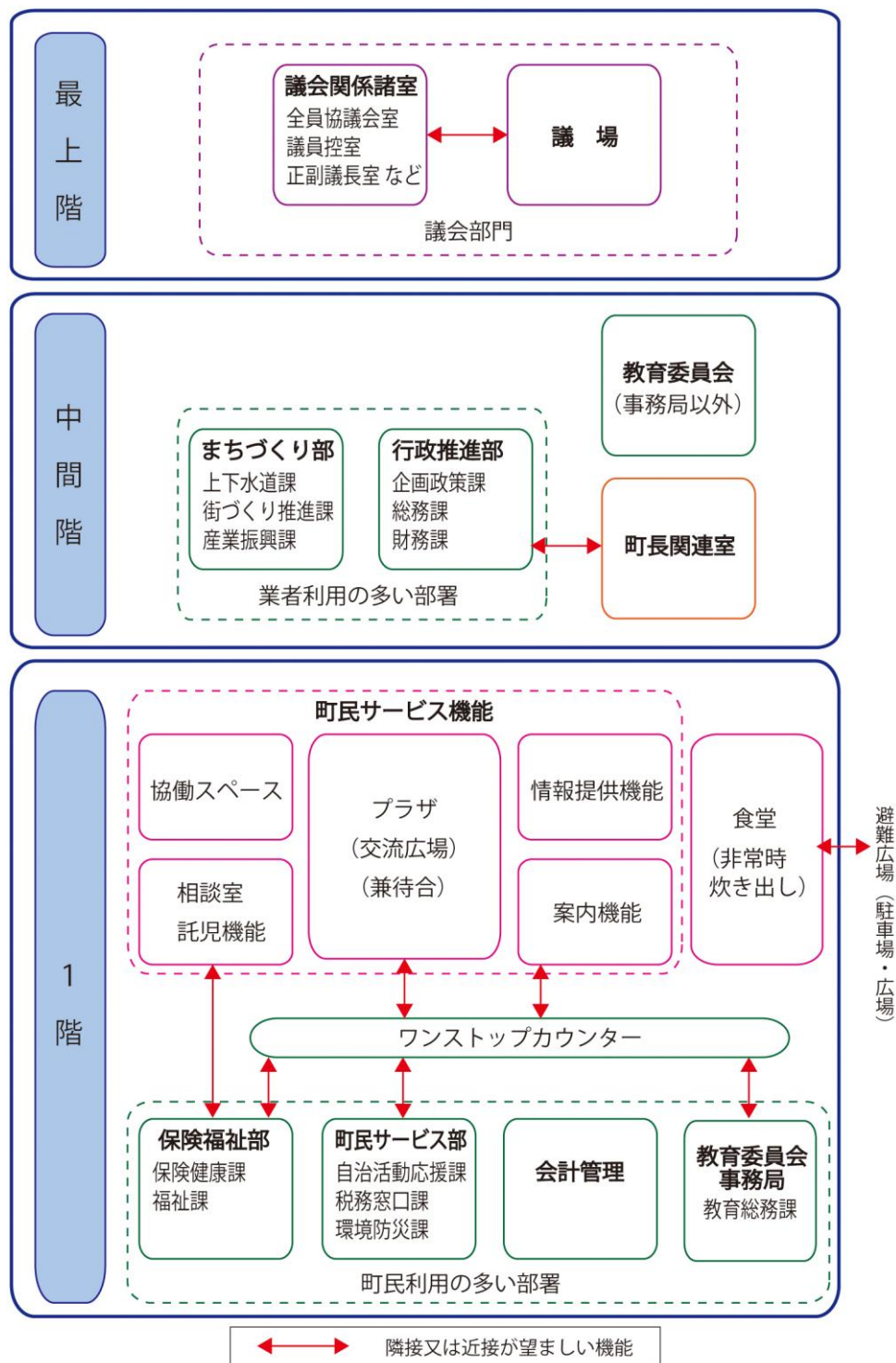
■議会機能の階層構成イメージ

階層	配置の考え方	想定される部署・機能
最上階	大きな空間が必要な議会機能を配置	議場、全員協議会室、議員控室、正副議長室、応接室、会議室、議員図書室 等

4) 内部構成の考え方のまとめ

1) ～ 3) において検討した各機能の階構成ゾーニングを反映した階層毎の全体構成は以下のように考えられます。

■階層毎の全体構成イメージ



2. 新庁舎の平面構成の考え方

1) 平面構成パターンの検討

敷地内での配置検討と新庁舎の階層構成の検討の結果を踏まえて、平面構成の考え方を検討します。

平面構成の考え方としては、建物内の通路形状について種類分けをすることにより以下のように3種類のパターンが想定されます。

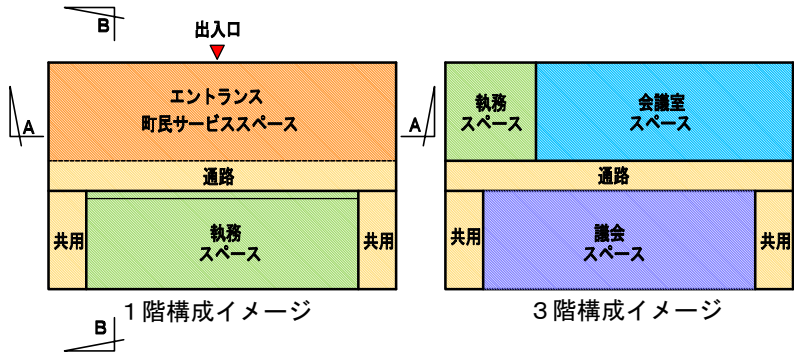
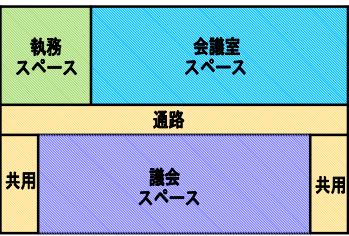
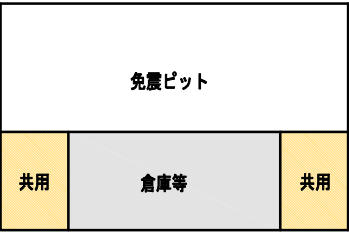
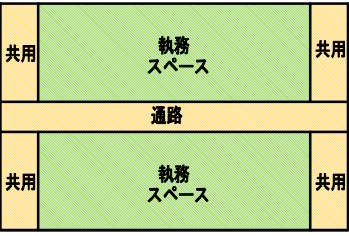
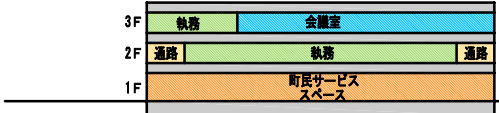
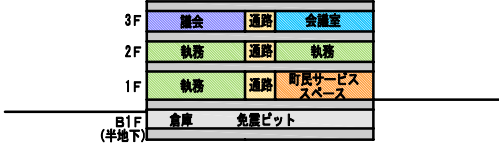
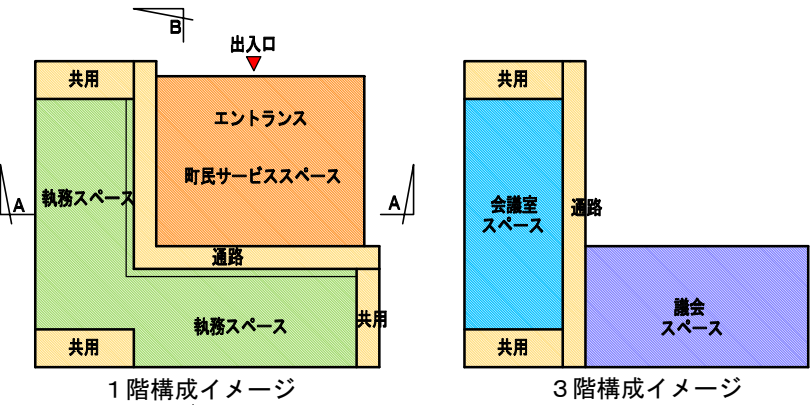
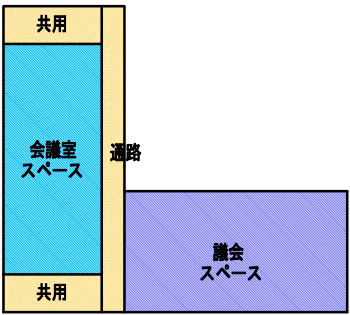
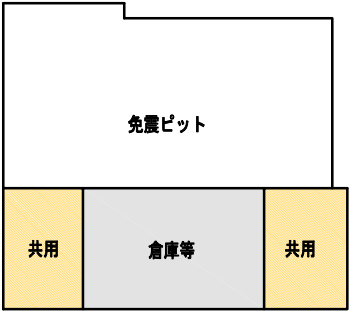
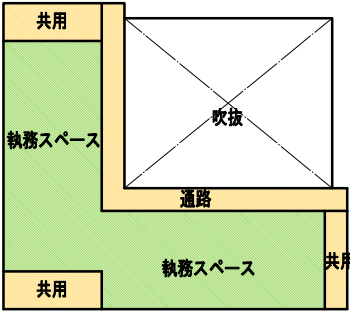
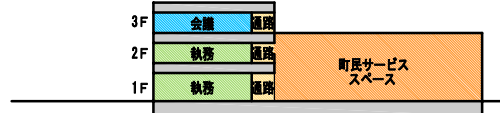
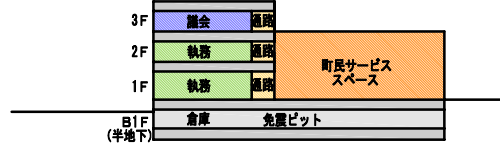
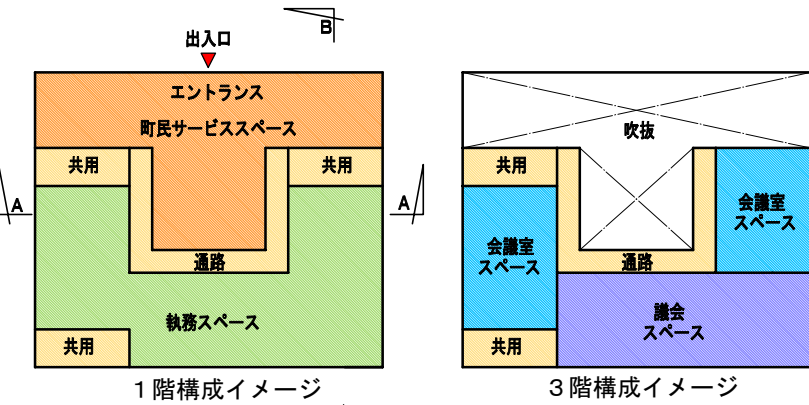
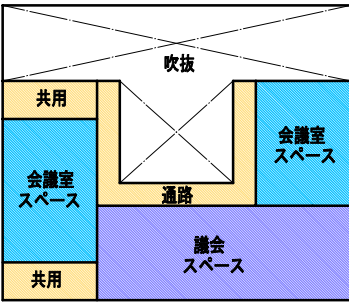
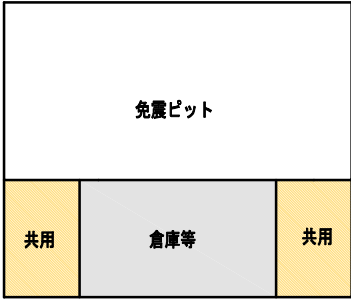
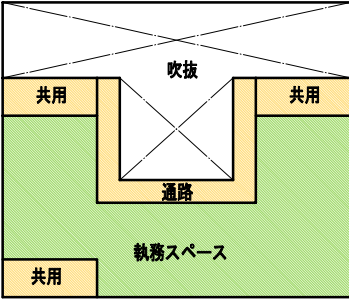
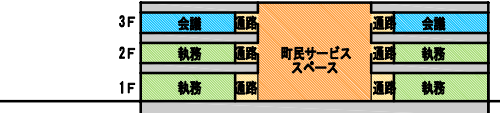
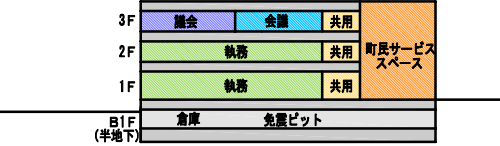
■想定される平面構成のパターン

通路形状の考え方		特 徴
①	I型通路	シンプルで直線的な通路を両側から挟むように諸室を配置する案
②	L型通路	効率的なL型の通路の片側に諸室を配置する案
③	コの字型通路	最も効率的なコの字型通路を囲むように諸室を配置する案

この3種類について一定の条件を設定し、「建物内来庁者動線」「1F窓口カウンター」「執務スペース」「町民サービススペース」「屋外広場等の計画」について評価をし、比較・検討をします。

■比較検討のための条件

項 目	内 容
階層	地下1階（敷地高低差を生かした半地下階）と1階～3階の4階層 ※新庁舎の階数については、比較の為に仮設定したものであり、決定した階数ではありません。
執務スペース奥行き	奥行き：12m～13m
床面積	4,700 m ² ～4,800 m ²
各階の基本的な構成	B1F：倉庫（防災備蓄庫も含む） 1F：町民サービススペース、執務スペース 2F：執務スペース 3F：会議室スペース、議会スペース

	① I型通路の平面構成案	② L型通路の平面構成案	③ コの字型通路の平面構成案
 凡例 町民サービススペース (エントランス、食堂含む) 議会スペース 会議スペース 執務スペース (更衣室、休憩室含む) 倉庫スペース 共用スペース (階段、EV、トイレ、設備、等) ※各用途面積は「Ⅱ.庁舎整備の規模」において想定した面積を確保しています。	 1階構成イメージ  3階構成イメージ  地下1階構成イメージ  2階構成イメージ  A-A断面イメージ  B-B断面イメージ	 1階構成イメージ  3階構成イメージ  地下1階構成イメージ  2階構成イメージ  A-A断面イメージ  B-B断面イメージ	 1階構成イメージ  3階構成イメージ  地下1階構成イメージ  2階構成イメージ  A-A断面イメージ  B-B断面イメージ
項 目	評 価	評 価	評 価
建物内来庁者動線について	見通しの良いI型通路の為、来庁舎動線は分かりやすい。	吹抜けに面したL型通路の為、来庁舎動線は分かりやすい。	通路上の曲がり角が2ヶ所となる為、来庁舎動線は分かりづらい。
1F窓口カウンターについて	エントランスからカウンターが認識し易いが、カウンターの長さが短い為、1階に町民利用の多い窓口を全て計画することが難しい。	エントランスからカウンターが認識しやすく、カウンターの長さも十分に確保できる。	エントランスからカウンターが認識しやすく、カウンターの長さも十分に確保できる。
執務スペースについて	3階まで執務スペースが必要となる。 町民利用の多い部署を2階にも計画する必要がある。	町民利用の多い部署は1階で全て確保可能。	町民利用の多い部署は1階で全て確保可能。
町民サービススペースについて	整形な形状の町民サービススペースの確保が可能であるが、吹抜けの空間ではない為、開放性が他案に比べて劣る。	吹抜けを有した開放的で整形な町民サービススペースの確保が可能。	吹抜けを有した開放的な町民サービススペースの確保が可能であるが、形状はT字となる。
屋外広場等の計画について	計画建物の平面形状が小さい為、建設範囲内に屋外広場等を計画し易い。	計画建物の平面形状が大きい為、建設範囲内の屋外広場等の大きさには制限がある。	計画建物の平面形状が大きい為、建設範囲内の屋外広場等の大きさには制限がある。
Title 平面構成パターンの検討			Scale 1:1000
			Sheet - 64 -

2) 平面構成の考え方のまとめ

平面構成の考え方については、今回の各平面構成パターンの評価結果を踏まえて、今後、関連部署との調整や庁内における検討を行い、どの案が機能的・規模的に最適であるか、引き続き基本・実施設計段階において深く検討を行う必要があると考えます。